

なのはな



岡崎市立六ツ美中部小学校
校長室だより No.3
令和3年5月24日(月)

学校にこんな掲示物があります

職員・来賓玄関を入った靴箱の上に、こんな掲示物があります。調べてみました。「はきものをそろえる」は、長野県円福寺の住職（1910年～2009年）だった、藤本幸邦というお坊さん書いたもので、戦後親とはぐれて一人になってしまった子や戦災で親を失った子供たちを引き取って、お寺で育てていました。藤本さんは、「脚下照顧」の教えを子供たちに分かりやすく伝えるためにこの詩を作ったそうです。



あいさつ
「おはよう」というと目がさめる
「いただきます」というとおなかがよく
「いってきます」というとげんきにいけない
「ありがとう」というときもちがいい
「ごめんなさい」というとはっとする
「おやすみなさい」というと
いいゆめみられる
あいさつってうれしいな

はきものをそろえる
はきものをそろえると心もそろろう
心がそろうとはきものもそろろう
ぬぐどきにそろえておくと
はくどきに心がみだれない
だれかがみだしておいたら
だまってそろえておいてあげよう
せかいじゅうの
人も心もそろおうでしょう

左の「あいさつ」は、2004年、半田市立乙川東小学校の当時1年生、福島圭一郎さんの詩だそうです。1年生らしい、素直な気持ちが出ています。六中小のみなさんにもこの2つの詩を読んで、「ぼくも・わたしもやってみよう」となってくれるとうれしいです。

田植えをしました

5月24日(月)、2年生と5年生と一緒に福桶町で田植えをしました。合歓木町の二村さんたちの御協力で今年も行うことができました。私が六ツ美中に勤務していた時と同じ田んぼですから、もう20年以上続いています。当時は、中学校のお兄さんやお姉さんたちと交流して植えていました。

学区の方々に心から感謝したいと思います。

